

# 社会資本総合整備計画

多機能を有する複合施設を核とした、世代間の交流と賑わいの創出

事後評価シート

平成28年3月

山口県周南市

事後評価結果のまとめ

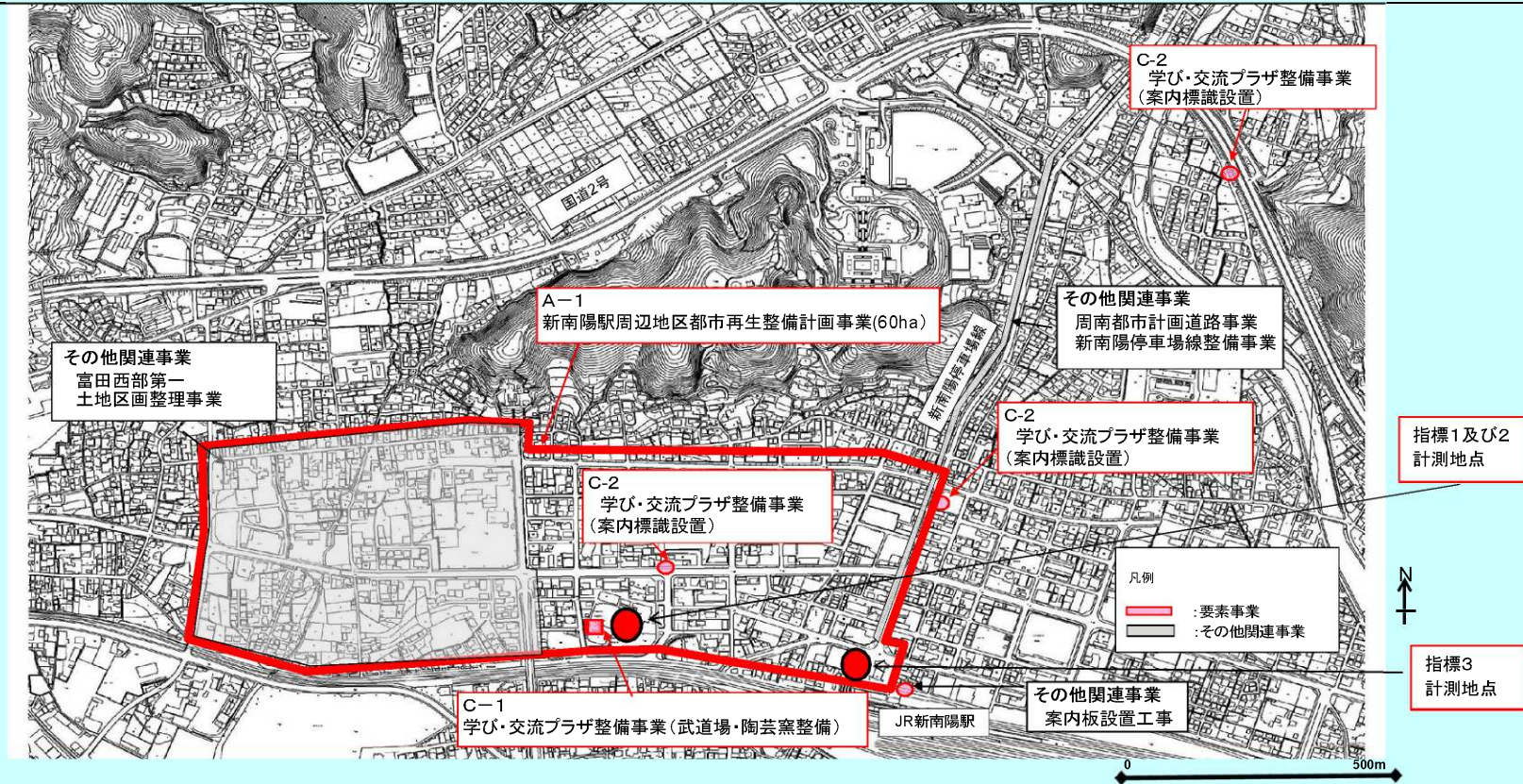
都道府県名	山口県	市町村名	周南市	計画名	多機能を有する複合施設を核とした、世代間の交流と賑わいの創出			面積	-	
交付期間	平成25年度～27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	3,157.3百万円	国費率	0.493/0.50			
1)事業の状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	新南陽駅周辺地区都市再生整備計画事業							
		関連事業								
		効果促進事業	学び・交流プラザ整備事業(武道場・陶芸窯整備)、学び・交流プラザ整備事業(案内標識設置)、学び・交流プラザ整備事業(事業効果分析)							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-	削除/追加の理由		-				
		関連事業	-	-		-				
		効果促進事業	学び・交流プラザ整備事業(事業効果分析)	直営で実施のため		無				
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-		-				
		関連事業	-	-		-				
		効果促進事業	-	-		-				
	交付期間の変更	当初	平成25年～27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
変更										
2)事業の進捗状況	別紙 事業進捗状況のとおり									
3)社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		最終目標値		最終評価値	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位		基準年度		目標年度				
	指標1	学び・交流プラザの利用者数	人/年	317,234	H22	320,000	H27	328,308	図書館やホール機能を合築した複合施設にしたことにより相乗効果が得られ、市内外からの利用者・交流人口が増えた。そして、関連事業である学び・交流プラザ内の武道場・陶芸窯整備により、交流人口は更に増加する考えられる。また、施設への案内標識の設置により、利便性が向上した。	H28.4月以降
	指標2	学び・交流プラザの定期利用団体数	団体	126	H23	135	H27	133	本市の生涯学習・コミュニティ活動及び市民交流の活動場所となる複合施設が完成し、以前活動していた団体が戻るとともに、関連事業である武道場・陶芸窯整備により、より多目的な利用が図られ、新たな団体が増加することが考えられる。	H28.4月以降
指標3	歩行者交通量	人/日	492.0	H23	500.0	H27	519	複合施設の完成と土地区画整理事業の整備等が相互に作用し、歩行者通行量が増加した。		

## 様式2-2 地区の概要

社会資本総合整備計画「多機能を有する複合施設を核とした、世代間の交流と賑わいの創出」の成果概要

### 計画の目標

新南陽駅周辺地区は、本市の都市機能の中核となる徳山駅前エリアと役割を分担し合うと共に、機能連携を深めることで、「文化と活力があふれ人の賑わいと輝きに満ちる周南の拠点」としての一翼を担うこととしており、老化・分散している公共施設を区域内に複合施設として集約化することで新たな公共用地を利便性向上のため利活用する等、公共不動産の有効活用を図る。



まちの課題の変化	<p>既存施設の建替として、図書館等を内在した複合施設である周南市学び・交流プラザの完成により、多目的かつ多世代の交流が図られた。 宮の前線の道路整備や景観整備により、歴史性に配慮されたまちなみ景観が形成され、周南市学び・交流プラザ、商業施設、駅への新たな交流動線が生まれた。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域西側は土地区画整理事業が施行中で、居住者も増加しており、コミュニティ活動の核となるように、学び・交流プラザにおいても若い世代から高齢者といった多世代が集えるような事業の充実を図り、活気のあるまちづくりを推進していく。</li> <li>・公共交通の利便性を活かし、周南市学び・交流プラザをコンベンションの受入先施設として推進することで、市内外からの多くの来街者呼び込み、新たな市民交流を促し、地域に活力と賑わいを創出していく。</li> <li>・複合施設の利用者増加に伴う駐車場の混雑を解消するため、公共交通機関の利用促進を図るとともに、周辺の公共施設と連携することで駐車場を確保するなどの対応を図る。</li> </ul>

